

KAZUMOちゃんご学ぼう!



ぎん まく
銀幕の中のメロディー

さ とう まさる
佐藤 勝

もくじ
目次

はじめに	1
<small>さとうまさる</small> 佐藤勝生まれる	3
<small>かぶおんぎよく</small> <small>えいが</small> 歌舞音曲と映画	6
<small>きゅうせい</small> 旧制留萌中学校に進学	7
<small>くにたち</small> 国立音楽学校に進学	12
<small>はいせん</small> <small>ききょう</small> 敗戦そして帰郷	14
<small>さいど</small> 再度東京へ	18
<small>えいが</small> 映画音楽の道へ	21
<small>はやさかふみお</small> 早坂文雄の弟子に	23
<small>さいしよ</small> 最初のクレジット	28
<small>おんし</small> 恩師の急死	32
<small>くろさわあきらかんとく</small> 黒沢明監督と	36
<small>かんとく</small> 多くの監督たちとの出会い	48

わかもの 『若者たち』	50
わざら 大病を患う	53
さいき 再起	55
ふるさと だいがっしょう 故郷の大合唱	58
えいが 300 本目の映画音楽	65
ふるさと さいご 故郷での最後のコンサート	67
ぎんまく 308 本目の銀幕のメロディー	70
とつぜん 突然のエピローグ	75
おわりに	79

さとうまさる
佐藤勝物語



はじめに

みなさんは、生涯しょうがいで308本の映画の音楽えいがを作曲し、映画音楽えいがの巨匠きょしやう（※1）と呼ばれた人を知っていますか。

その人は留萌出身の音楽家佐藤勝さとうまさるといひます。

太平洋戦争たいへいようせんそう（※2）がおわり、多くの日本人がこれからどう生きていこうかと途方とほうに暮れてくいた頃ころ、生きていく力をくれたのが、娯楽ごらくでした。その中でも映画は人気えいががあり、昭和35年（1960）には全国に7,457館の映画館えいがで、年間12億人おくが映画えいがを見ていました。

※1 巨匠きょしやう

その方面とく、特に芸術げいゆつの分野きわで際立すぐって優れた人。

※2 太平洋戦争たいへいようせんそう

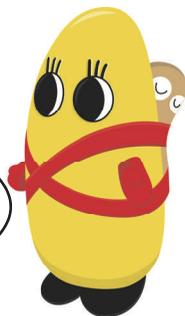
1941年12月から1945年8月までの間、アメリカ合衆国がっしゅうこく、イギリスを中心とする連合軍れんごうぐんと日本との間で戦たたかわれた戦争せんそう。

えいがぜんせいき えいが かか えいがかんとく
その映画全盛期に映画と関わり、多くの映画監督たちとの
出会いを重ねて、その作品に音楽というジャンルで貢献(※
3)してきたのです。

また、故郷の留萌でもコンサートを開いたり、沖見小学校
の校歌や、海のふるさと館の映像展示『海燃えて』の音楽を
作曲するなど、留萌市に貢献したことから、平成4年(1992)に
留萌市功労賞(※4)を受賞しています。

きょうど いだい
郷土留萌が生んだ偉大な作曲家の人生をふりかえてみま
しょう。

「沖見小学校の校歌」も佐藤勝さんが
作曲したんだMO～。



※3 貢献

何かのために力をつくして寄与すること。

※4 留萌市功労賞

市勢の振興発展に尽力し、又は広く社会文化の興隆に寄与した人に
贈られる賞。

さとうまさる

佐藤勝は昭和3年(1928)5月29日に父熊次郎、母初代の4

くまじろう

はつよ

男2女の末っ子として留萌に生まれました。家は留萌一の

すえ

料亭(※5)「日勝亭」を経営していました。

りょうてい

にっしょうてい

けいえい

くまじろう

おたる

父熊次郎は小樽の出身で小樽中学校を卒業後、鉄道、

おたる

そつぎょう

郵便局に勤めていました。しかし、増毛の佐藤末吉に子ども

ゆうびんきょく

つと

さとうすえきち

がいなかったことから、親類から養子(※6)に迎えていた初代

しんるい

ようし

むか

はつよ

と結婚し、明治42年(1909)に留萌に移り、料亭を営しました。

けっこん

めいじ

うつ

りょうてい

けいえい

※5 料亭

りょうてい

主として日本料理を出す高級な料理屋。

りょうり

こうきゅう

りょうりや

※6 養子

ようし

血のつながらない子どもをもらって、自分の子どもとして育てた子。

しかし、^{まさる}勝が^{はつよ}初代のお腹に^{なか}いるときに、^{じゅうらい}従来この商売が

^{しょう}性に^あ合わなかつた（※7）^{くまじろう}熊次郎は^{はつよ}初代と^{わか}別れることとなり
ました。

後に父がいないことを母に^{たず}尋ねると、「^{せんそう}戦争に行っている。」
と答えていたと話しています。

^{にっしょうてい}日勝亭の^{けいえい}経営は^{じゅんちょう}順調であつたらしく、昭和8年(1933) 8
月8日に行われた「^{こうかんせいしゅくが}留萌港完成祝賀会」の会場はこの^{にっしょうてい}日勝亭
でした。

※7 ^{しょう}性に^あ合わない

^{この}好みでない。 ^{きしつ}気質に合わず、心地がよくない。

になしやうてい にちろ せんそう しやうり
ちなみに「日勝亭」という店名は日露戦争(※8)に勝利した

すえきち
ことから末吉が名づけたといわれています。



になしやうてい くまじろう
生家の日勝亭と父熊次郎

にちろせんそう
※8 日露戦争

めいじ めいじ ちやうせん だいかんていこく
明治 37 年 (1904) から明治 38 年 (1905) までの朝鮮 (大韓帝国)・
まんしゆう しばい せんそう
満州の支配をめぐる日本とロシアとの戦争。

りょうてい えんかい かぶおんぎよく
料亭の宴会には歌舞音曲(※9)がつきものです。毎日三味
たいこ す きら とど
線や太鼓などの音が好き嫌いにかかわらず、いつも耳に届い
ていたのです。それに母親も兄弟も歌舞音曲が好きで、近所の
げきじょう えいが つ
留萌劇場に映画がくるたびによく見に連れていかれました。
たたみじ さじき すわ たんげ さぜん
畳敷きの棧敷(※10)に座り『丹下左膳』や『キングコング』な
どにわくわくしたものです。この音楽が留萌で聞いた最初の
さいしよ
オーケストラの音楽でした。

かんきょう しんどう
こんな家庭環境だったことから、小学校で音楽は神童(※
11)と言われ、学芸会の独唱や劇の主演をこなしていました。

かぶおんぎよく
※9 歌舞音曲

おど
歌と踊りと音楽。

さじき
※10 棧敷

げきじょう いちだん いたじ せき
劇場などで、一段高く作った板敷きの見物席。

しんどう
※11 神童

さいのう ち え きわ
才能と知恵が極めてすぐれている子ども。

昭和 16 年(1941) 4 月 ^{まさる}勝は留萌中学校に進みます。中学校では映画を見ることは許されていないのです。見つかったら^{ていがく}停学(※13)、^{たいがく}退学(※14)という時代です。それでも映画が好^すきで好きでたまりません。劇場の通用口の壁に耳を当てて^{えいが}映画の音楽を聴いたものです。

また、休日には朝 1 番の列車に乗り^{あさひかわ さつぼろ}旭川や札幌まで出かけ、映画を見ていました。そして^{さいしゅう}最終列車で留萌に帰ってきました。

※12 ^{きゅうせい}旧制

^{せいど}古い制度。

※13 ^{ていがく}停学

^{そく いはん}学校が校則に違反した学生・生徒に対し、^{せいと}一定期間登校を^{ていし}停止すること。

※14 ^{たいがく}退学

^{せいと}学生・生徒が^{ざいがく}在学中に、^{とくべつ}特別の理由で、^{じはつてき}自発的に学校をやめること。

また、学校側から^{がわ}強制的に^{きょうせいてき}やめさせられること。

^{まさる}勝は学校の音楽部などには入らず、家に帰って一人でアコーディオンを弾いたり、レコードを聴いたりして過ごしていました。



アコーディオンを弾く^ひ佐藤勝^{まさる}

しかし、この年の12月に太平洋戦争たいへいようせんそうがはじまり、学校では

授業じゆぎようはほとんどせずにがくと どういん学徒動員(※15)だ、きんろう ほうし勤勞奉仕(※16)だと

戦争せんそうへの協力をさせられました。

ただ、留萌女学校の音楽教師きょうし 松田喜一先生まつだ きいちが週1回中学

校じゆぎように授業じゆぎように来るようになり、うれ嬉しくてひっし必死に勉強しました。

そして、こじんてき個人的にしどう指導を受けるようになりいっそう一層音楽にのめりこみました。

また、作曲ちようせんへも挑戦して、「国民こくみんの音楽」という雑誌ざっしの募集ぼしゆう

に応募おうぼすることもありましたが、一度も入選にゆうせんすることはありませんでした。

※15 学徒動員がくと どういん

日中戦争にっちゆうせん以後、労働力不足ろうどうりよくぶそくを補おぎなうために学生・生徒せいとを工場などで強制的きようせいてきに労働ろうどうさせたこと。

※16 勤勞奉仕きんろうほうし

公共的こうきようてきな目的もくてきのために、無報酬むほうしゆうで勤勞きんろうに従事じゆうじすること。

中学校2年生の時に将来^{しょうらい}の方向を決めなければならなくなりました。戦争中^{せんそうちゆう}だったことから、同級生はほとんどが軍隊^{ぐんたい}への志望^{しぼう}(※17)でしたが、自分はやはり音楽学校に行きたいと思っていました。

しかし、戦時中^{せんじちゆう}に何が音楽学校だ「非国民^{ひこくみん}」(※18)ではないかと言われるのが当たり前の時代でした。それで、軍楽隊^{ぐんがくたい}にも入ろうと考えたのですが、年齢制限^{ねんれいせいげん}があつて入隊^{にゆうたい}できません。そこで、旭川^{あさひかわ}の連隊^{れんたい}の司令官宛^{しらいかんあて}に血書^{ちけい}(※19)の嘆願書^{たんがんしょ}(※20)を提出^{ていしゅつ}したりしました。

※17 志望^{しぼう}

自分はこうなりたい、こうしたいと望む^{のぞ}こと。

※18 非国民^{ひこくみん}

だいにじたいせんまえ せんちゆう ぐん せいさく ひはんでき ひきょうりよくてき
第二次大戦前、戦中において、軍や国の政策に批判的・非協力的なものをおとしめていったことば。

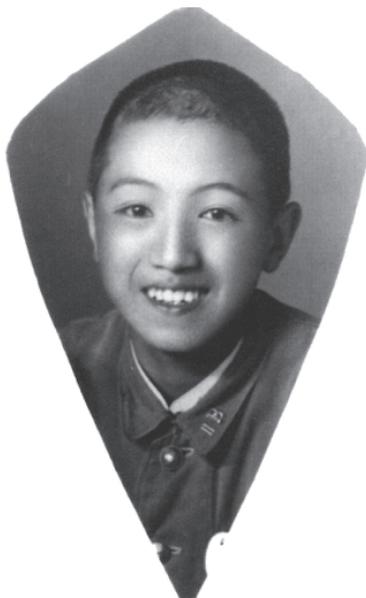
※19 血書^{ちけい}

強い決意^{せいい}や誠意^{しめ}を示すために自分の血で文字を書くこと。

※20 嘆願書^{たんがんしょ}

強いお願い^{ねが}をする内容^{ないよう}が書き記した文書のこと。

昭和 20 年(1945) 3月に中学校を卒業しました。この年は
非常時^{ひじょうじ}と言うことで5年生と一緒^{いっしょ}に1年繰り上げて卒業と
いうことになりました。戦争^{せんそう}ももう末期^{まつき}(※21)で勉強どころで
はなかったからです。



わか 若き日の佐藤勝^{さとうまさる}

※21 ^{まつき}末期

^{かぎ}ある限られた期間の終わりの時期。

音楽学校に進むといっても、どこへ入れるか松田先生と相談し、国立音楽学校の師範科を受験することにしました。先生のレッスンを急遽受け、列車の切符をやっとの思いで買い、東京に行き受験しました。すると合格したものですから、すぐに上京しました。

しかし、戦況はいつそう厳しくなっており、東京は連日B29(※22)の爆撃にさらされており、大変な状況になっていました。

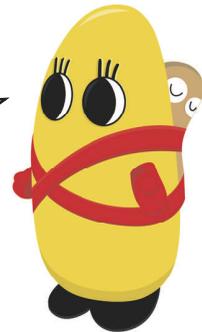
※22 B29

おおがたせんりやくばくげきき
ボーイングB-29大型戦略爆撃機。

いちおう むさし こがねい
一応東京の武蔵小金井に下宿(※23)し、学校に通いましたが、
勉強どころではなく、生きるか死ぬかわからない状態になっ
ていました。

ひっしょう きねん がくだん
そんな中、学校は必勝を祈念して(※24)学生の楽団(※25)を
ぐんじゅ いもん
つくり軍需工場(※26)を慰問(※27)してまわりました。

本格的に音楽の勉強したかった
けど、戦争でそれどころじゃな
かったんだMO～。



※23 下宿

つきぎ けいやく まが
月極めの契約で部屋を間借りさせること。

※24 必勝を祈念して

しょうり なら よ きがん
勝利やそれに並ぶ良いことが起こることを祈願すること。

※25 楽団

だんたい
音楽をする団体。

※26 軍需工場

へいき ばくやく こうくうき ぐんじ ひつよう ぶっし せいさん しゅうり
兵器・爆薬・航空機など軍事に必要な物資を生産・修理する工場。

※27 慰問

みま
見舞ってなぐさめること。

はいせん こんらん
敗戦で世の中が混乱している中、ひとまず留萌に帰ろうと
うえのえき
思い、上野駅に行き、何とか次の日列車に乗ることができまし
た。2日目の朝、あおもりえき れんらくせん
た。2日目の朝、青森駅に着きましたが、連絡船(※28)もなく
他の北海道へ行く船も止められていました。それで、石炭おろ
しの仕事を手伝い、てつだ
なんとかポンポン船(※29)に乗せてもらい
はこだて
函館に着きました。

はこだて ふかがわ いっぱく
函館から汽車に乗り、深川で一泊し、次の日やっと留萌に
たどり着きました。家へ着くなりごはん
を食べて、そのまま死ん
だようにねむ つづ
だように眠り続けたといいます。

れんらくせん
※28 連絡船

の かいきょう れんらく
荷物を載せて、海峡などの間の交通を連絡する船。

※29 ポンポン船

すいじょうき あつりよく すいしんりよく え せんぱく
水蒸気の圧力で推進力を得る船舶のこと。

目が覚めると留萌の町には異様なにおいが漂っていました。
樺太(※30)からの引き揚げ船(※31)が国籍不明の潜水艦
から攻撃を受け、ばらばらになった遺体が浜に打ち寄せられ
た死臭だと言うことでした。

留萌に帰ってきたものの、敗戦により一晩で世の中の
価値観(※32)が変わってしまい、何もする気にならず無駄に時
が過ぎていきました。

そんな時、留萌で医院を経営する南出幸一さんから「この
町のために音楽をやらないか」と声をかけられます。

※30 樺太

オホーツク海の南西部にあるロシア連邦サハリン州の島。

※31 引き揚げ船

第二次世界大戦末期の1945年、樺太からの引揚者を主体とする日本の
緊急疎開船のこと。

※32 価値観

物事を評価する際に基準とする、何にどういう価値を認めるかという
判断。

ふくいん ぐんがくたいいん そかいしや きょうし
復員(※33)帰りの軍楽隊員や疎開者(※34)、中学校の教師な

みなみで がくだん
どが集まり、南出さんをリーダーに「楽団ロリックメロディ
けっせい まさる たんとう
ー」を結成し、勝はオルガンを担当しました。

そして、昭和21年(1946)2月「アーリースプリング・

めいろう げきじょう えんそうかい かいさい
ファーストコンサート」と銘打って留萌劇場で演奏会を開催
かんしゅう ちょうまんいん だいせいこう
すると、観衆(※35)が超満員になり大成功でした。

ふくいん
※33 復員

ぐんたい たいせい せんじ もど へい じょうたい ふくむたいき
軍隊の体制を「戦時」から「平時」に戻し、兵を動員状態から服務待機
もど
に戻すこと。

そかい
※34 疎開

くうしゅう かさい ひがい
空襲・火災などによる被害を少なくするため、都市などに集中している
じゅうみん たてもの ぶんさん
住民や建物を地方に分散すること。

かんしゅう
※35 観衆

こうぎょうもの もよお もの おおぜい
興行物や催し物などを見に集まった大勢の人々。

しかし、この成功せいこうでちょっといい気になっていたようです。

休憩きゅうけい 時間まじに街の兄ちゃんよに呼び出され、「態度たいどがでかくないか」と因縁いんねんをつけられ(※36)ました。

その時、7ヶ月程ほどもいい気になって無駄むだに時間すを過ごしていましたが、自分には音楽の世界があったことを思い出しました。それで、すぐに国立音楽学校くにたちに「休学届とどけ」を提出ていしゆつし、学校ふくがくに復学(※37)できるようにし、昭和 22 年(1947) 4 月に国立音楽学校くにたちに復学ふくがくしました。

※36 因縁いんねんをつけられる

無理むに理由ひをこじつけて相手の非せを責めたてられること。

※37 復学ふくがく

停学ていがく・休学せいとしていた学生ふたた・生徒ふつきが再びもとの学校に復帰すること。

東京にもど戻った勝はまさる師範科1年生にしはんか復学し、ふくがく勉強をがんばったことから、しはんかそつぎょう師範科卒業の時はせいせきゆうしゅう成績優秀で、とくべつ作曲科2年に特別にへんにゆう編入(※38)になりました。

しかし、これを良いことに勉強をさぼったためらくだい落第(※39)してしまいました。

へんにゆう
※38 編入

そしき 大きな組織や だんたい 団体に小さいものが組み入れられること。

らくだい
※39 落第

上級の学年に進級できないこと。

それに、実家の料理屋は戦後の貯金の封鎖(※40)やインフレ

(※41)により経営が悪化して廃業(※42)してしまったのです。

これにより実家からの仕送りもなくなり、やけになっていました。

そのときに一橋大学の合唱団から指揮者の誘いがあり生

活のため引き受けました。また、八王子実践女学院の音楽の

講師(※43)のアルバイトもしました。この高校の校歌は勝が
作曲したものです。

※40 貯金の封鎖

私たちの預貯金・不動産などの財産を没収すること。

※41 インフレ

物がよく売れるため、事業業績が上昇し、従業員の給与も上がり続け好循環をもたらすこと。

※42 廃業

会社あるいは個人事業主がその理由にかかわらず自主的に事業をやめること。

※43 講師

講演や講義をする人。



八王子実践女学院の講師時代の佐藤勝

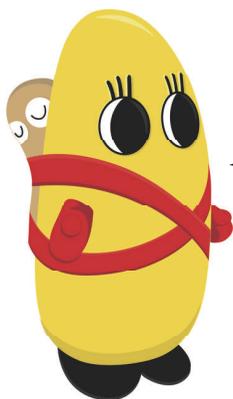
まさる ひごろ えいが す えいが
勝は日頃から映画が好きで、たくさんの映画を見ており、
その音楽に興味を持っていましたが、この道に進もうと思っ
たのは昭和25年(1950)の夏のことです。

そつぎょう ききょう
卒業を来年にひかえて留萌に帰郷しました。しかし、家は
だんだんとまず貧しくなり、仕送りに頼ることなく自分で生計を
立てて行かなければならなくなっていました。

かせ ふるさと
それで、もう自分で稼いで故郷に帰れるようになるまで、
留萌に帰らないと心に決め、東京に引き返しました。

うえの けっこん たかはしち え こ むか
上野には後に結婚する高橋千恵子が迎えに来ていました。

ち え こ いっしょ くるさわあきらかんとく らしょうもん
その時、千恵子と一緒に見たのが黒沢明監督の『羅生門』と
えいが はやさかふみ お えいが
いう映画でした。音楽が早坂文雄で、その音楽に感動し、映画
音楽の素晴らしさを認識したのです。



えいが きょうみ
映画音楽への興味を
もったんだMO～。

昭和 25 年(1950)、^{らくだい}落第して 4 年生をもう 1 年しなければなら
なくなつた年、^{ぐうぜんはやさかふみ お}偶然早坂文雄のいところである^{はやさかれい ご}早坂礼吾と知
り合い、^{たの こ}頼み込んで^{はやさか}早坂先生に^{しょうかい}紹介してもらいました。

昭和 26 年(1951) 3 月に^{はやさか}早坂先生の門をたたいた(※44)ので
す。^{はやさか}早坂先生は^{けっかく わずら}結核を患っており、はじめ「^{おれ}俺は体力ないし、
教えるようなことはできない。」^{ことわ}と断られました。

※44 門をたたいた

^し師と^{あおく}仰ぐ人^{たす}を訪ねて、弟子入り^{たの}を頼むこと。

しかし、ここで引き下がってはならないと思い、「教えてい
ただかないかわりに、^{げっしゃ}月謝^(※44)も^{はら}払いません。草むしりでも
何でもしますからそばにおいてください。」と頼^{たの}みました。先
生は「盗^{ぬす}むのは勝手^{たの}だけど、教えはしないよ。」とのことで、
何とか出入り^{ゆる}だけは許^{ゆる}されました。

その頃^{ころ}、先生から母親^{はつよ}の初代^{はつよ}に手紙^{はつよ}が来て、「おたくの息子
が来ているが、親の死に目にも会えない仕事です。」と書かれ
ていました。初代^{はつよ}は「煮^にるなり焼^やくなり先生の思い通りにして
ください。」と返信^{へんしん}したと母初代^{はつよ}から聞きました。

※44 ^{げっしゃ}月謝

^{しやれい}月ごとに^{とく}出す謝礼、^{じゆぎようりょう}特に^{はつよ}授業料。



母 ^{はつよ}初代

^{はやさかふみ お}早坂文雄の助手として ^{はたら}働きはじめた ^{まさる}勝は、^{かばん}鞆持ちとして
^{はやさか}早坂先生に ^つ付き添って ^そ映画の ^{えいが}現場や、^{げんば}監督たちとの ^{かんとく}打ち合わせ
に同行しました。

はやさか
早坂先生からはその音楽に徹底的にオリジナリティー
てっぺいてき
(独創性(※45))を追求し、ものまねではないものを求められ
どくそうせい ついきゅう もと
ました。

また、お酒の飲み方から、人生の生き方を教えられました。

「プライドを持って。タバコを吸うならいいタバコを吸え。
す す
ひん どん
貧しても食するな(※46)。ただ食べるな、うまいかうまくない
かをわきまえて食え。心眼(※47)をやしなえ。」
しんがん

ぼろは着てても心は錦(※48)の歌詞の生き方でした。
にしき かし

どくそうせい
※45 独創性

どくじ のうりよく
独自の考えで物事を作り出す能力。

ひん どん
※46 貧しても食するな

びんぼう よくぶか
貧乏すると生活の苦しさから欲深になるなという意味。

しんがん
※47 心眼

みぬ
心の目によって目に見えない真実を見抜く力のこと。

にしき
※48 ぼろは着てても心は錦

さ ゆた
見た目はみすぼらしく冴えなくても、心は豊かであるということ。



おんし はやきかふみ お いっしょ
恩師 早坂文雄と一緒に

さいしょ
最初のクレジット(※49)

みぞぐち けんじ かんとく いちかわらいぞう しゆえん しんへい けものがたり さつえい
溝口健二監督が市川雷蔵主演『新平家物語』を撮影してい
るとき、はやさかふみお びょうじょう はやさか ことわ つづ
るとき、早坂文雄の病状が悪化して、早坂は仕事を断り続け
ていました。

ところが、みぞぐちかんとく わか さとうくん
ところが、溝口監督から「あの若い佐藤君にやらせてはど
うか。」話がありました。はやさか きんちょう
早坂に「やってみろ」といわれ緊張
でコチコチになりましたが、むちゆう
夢中で曲を作りました。



※49 クレジット

えいが しゆつえんしゃ ひょうじ
映画やテレビ番組などにおいて、出演者、スタッフ、などの名前を表示
するものである。

この映画が封切られて、映画の画面の最後のクレジットに
「音楽 早坂文雄 小さく 佐藤勝」と名が出たときは嬉し
かったですし、やっと一人前になれたと思いました。

この映画やデビュー作『三太と千代ノ山』をやり終えたこと
から、徐々に作曲の仕事が入るようになりました。

この年、早坂文雄夫妻の媒酌(※50)で、高橋千恵子と明治
記念館で結婚式を挙げ、文京区音羽で新生活を始めることが
できました。

※50 媒酌

結婚の仲立ちをすること。



おとわ ちえこふじん
音羽の家の庭で千恵子夫人と

おんし 恩師の急死

はやさかふみ お　　くろさわあきら　　くろさわさくひん
早坂文雄は黒沢明とは親友で、黒沢作品の『生きる』や『七
人の侍』などの音楽を手掛けていました。勝は早坂先生につ
いて飛び回りながら何本かの作品の音楽を引き受けていまし
た。

はやさか
早坂先生からは「あまりつまらない仕事はやめろ。筆がす
さぶ(※51)」と常日頃から諭されました。

※51　すさぶ

たいど
気持ちや生活態度にゆとりやうるおいがなくなること。

また、『ゴジラの逆襲』の時は「やるからには今までの伊
福部さん(※52)のような音楽ではなく、子どもたちが喜ぶよ
うな、ゴジラに親近感(※53)を覚えるような音楽をつくれ。」
『鞍馬天狗』の時は「佐藤でなければできない最高の音楽
をつくれ。」など一つ一つアドバイスを受けていました。

昭和 30 年(1955)10 月 15 日突然早坂が亡くなります。
黒沢明監督の『生きものの記録』の仕事中、病状が
悪化し、亡くなってしまったのです。勝も別な仕事の最中で
したが、すぐにお宅へかけつけました。奥様は突然のことに
おろおろするばかりです。

※52 伊福部さん

伊福部 昭、日本を代表する作曲家の一人。

※53 親近感

親しみやすい感じ。

まさる そうぎ だんど れいぜん な
勝は、葬儀の段取りをつけて、霊前(※54)で泣きながら作曲をしました。

くろさわかんたく はやさか とつぜん なげ
黒沢監督は早坂の突然の死を嘆き悲しみ、『生きものの記録』の撮影も手につかなくなり、黒沢組の撮影は一時中止となりました。

はやさか いこう
しかし、音楽をどうしようかということになり早坂の遺稿(※55)を調べると、メインテーマのデッサンと、ピアノの譜面(ふめん)台に書きかけのデッサンが四小節だけ残っていました。それを元(だい)に まさる つづ が続きを引き受けることになります。

※54 霊前

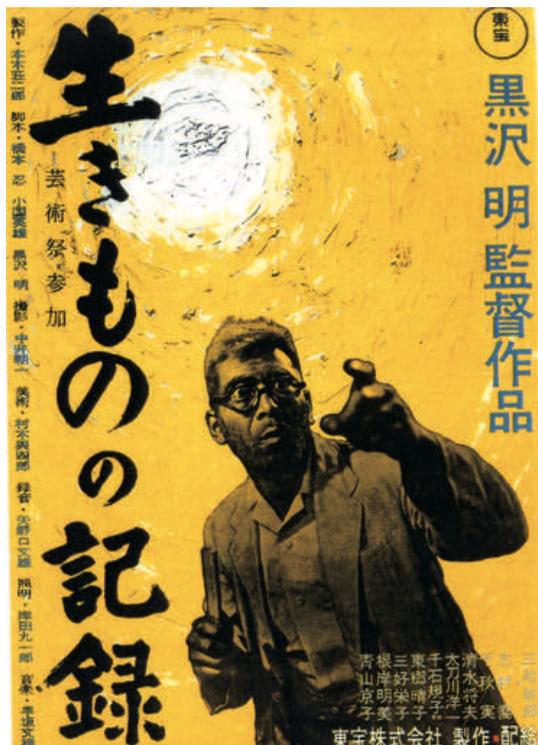
れいぜん
死んだ人を敬(うやま)って、その霊前(れいぜん)を言うことば。

※55 遺稿

な しよもつ
亡くなった人の生きていた時の書物や日記などをまとめたもの。

むづか
難 しい仕事でしたが何とかやり遂げ、クレジットタイトルに
はやさかふみ お いさく
「早坂文雄遺作」(※56) の文字を見たときは 涙 があふれて止
まらなかつたそうです。

えん くろさわかんたく
これが縁で黒沢監督と仕事をするようになります。



生きものの記録のポスター

いさく
※56 遺作

しぼう のこ
死亡した人が残した文学や音楽などの作品。

おんし はやさかふみお うしな まさる ほうしんじょうたい
恩師早坂文雄を失った勝は、少し放心状態になり、これか
らどうやって生きていくか迷っていました。この時、留萌の
友人たちはみんな随分と励ましてくれたものです。

さつえいじよ くろさわかんとく
そんな時、撮影所のスタッフの一人から「黒沢監督が次回
の作品に君を起用したいと言っている。」と聞きました。

くろさわかんとく くものすじょう
黒沢監督の次回作は『蜘蛛巣城』という作品でシェークス
ピア(※57)の『マクベス』を原案にそれを日本の戦国時代に設
定した作品です。『マクベス』など読んだこともありませんで
したから、慌てて本屋に買いに行き、読みました。

※57 シェークスピア

けきさつか えんげき
イングランドの劇作家、詩人であり、イギリス・ルネッサンス演劇を代
表する人物。

くろさわ らしやうもん こくさいえいがさいきんじし
黒沢といえば『羅生門』でヴェネツィア国際映画祭金獅子

しょう しょうめいよしやう じゆしやう せかいてき
賞(※58)、アカデミー賞名誉賞(※59)などを受賞し、世界的

えいが かんとく めいせい え
映画監督として名声(※60)を得ていました。

かんとく まさる
そんな監督が自分を指名してくれたことは26才の勝にと

しん きせき
っては信じられない奇跡と思えたのです。

こくさいえいがさいきんじしやう
※58 ヴェネツィア国際映画祭金獅子賞

こくさいえいがさい しょう えいがさい さいこうしやう
ヴェネツィア国際映画祭の賞の一つであり、同映画祭の最高賞である。

しょうめいよしやう
※59 アカデミー賞名誉賞

しょう そうせつ しょう ひやうしやう
第1回アカデミー賞から創設されたアカデミー賞の表彰である。

めいせい
※60 名声

めいよ ひやうばん
名誉ある評判。

くものすじょう のう さんこう かんとく
『蜘蛛巣城』は能(※61)の様式を参考にするとの監督の意向
のうがく せいしん ようがく ほうほう くふう
で、能楽の精神を洋楽でやる方法はないかと考えて、工夫に
くふう
工夫を重ねてつくりました。

かんせい かんとく
音楽が完成したときに、監督が「君いくつ。」と聞いてき
ました。「26才です。」と答えると「そうか。」とうなずい
ただけでした。

ふつう か
普通なら26才のまだ駆け出しの作曲家に、自分のつくる作
品の音楽を任せるとは大変な冒険だと思います。
まか たいへん ぼうけん



くろさわあきらかんとく はじ
黒沢明監督との初め
での仕事だMO～。

のう
※61 能

でんとうげいのう のうがく
日本の伝統芸能である能楽の一分野。

しかし、その若さ^{わか}に期待をかけて起用してくれた黒沢監督^{くろさわかんとく}

の人間の大きさ^{まさる}に勝^{かんしゃ}は感謝するとともに、精一杯^{せいいつぱい}の音楽を

提供^{ていきょう}できたのです。



黒沢監督との初めての作品^{くろさわかんとく}

その後、昭和32年(1957)に『^{ぞこ}どん底』、33年(1958)に『^{かく}隠し^{とりで}砦の三悪人』と続き、『^{やつ}悪い奴ほどよく^{ねむ}眠る』、『^{ようじんぼう}用心棒』、『^{つばきさんじゆうろう}椿三十郎』、『^{じごく}天国と地獄』、そして『^{いっしょ}赤ひげ』まで一緒に仕事をしました。

^{くろさわかんとく}黒沢監督は「この場面の音楽は4番バッターなんだよ。」とか「ここは音楽が主役だよ。」などと細かく言ってくれたそうです。こんなことを言ってくれる^{かんとく}監督はいません。しかし、その分^{ひっし}必死に作曲しなければなりませんでした。

仕事だけでなく、酒の飲み方から^{めし}飯のくい方、^{わら}笑い方まで教えられました。

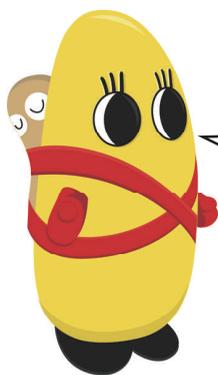
^{くろさわかんとく}黒沢監督の思いは「その人の人生に^{えいきょう}影響(※62)を^{あた}与えるよ^{えいが}うな映画を作りたい」ということでした。

※62 ^{えいきょう}影響

物事の力や作用が他のものまでに^{およ}及ぶこと。

それで企画(※63)から制作まで自分の考えで制作する。だから決して妥協を許さない。これが名作を生んだ理由でしょう。

昭和54年(1979)12月に『影武者』の仕事の時、監督と意見が合わず仕事をおりています。これ以降黒沢監督とは仕事をすることはありませんでした。それからは自分のことを「黒沢学校の中途退学者」と自称していました。



えいが
映画音楽の仕事に誇りを持って
いるんだMO～。

※63 企画

ある事をするため、計画を立てること。



くろさわかんたく
黒沢監督との作品



くるさわかんとく
黒沢監督との作品

黒澤 明 監督作品

赤ひげ



くろさわかんとく
黒沢監督との作品

多くの監督たちとの出会い

日本の映画史に残る 90 人を越える監督たちと仕事をしました。

思い出深い作品の監督をあげると最初に山本薩夫監督です。『戦争と人間』、『華麗なる一族』、『金環蝕』、『あゝ野麦峠』などで人間の生きる執念(※64)のようなものを教えられました。

山田洋次監督の作品では『家族』、『幸せの黄色いハンカチ』、『故郷』、『遙かなる山の呼び声』などがあります。監督の語り口は落語そのもので、続いて出てくる言葉がわかるのです。でもおかしい、だから素直な音楽でないと合いませんでした。

※64 執念

しゅうちやく はな
執着して離れない心。

しのだ まさひろ かんとく さっぼろ
篠田正浩監督の作品は『札幌オリンピック』です。ドキュ
メンタリーの映像ですから、内容は厳しくリアルなものです。
そこで、思い切り非現実的(※65)な音楽をつけることを心がけ
ました。

さいご おかもと きはち かんとく
最後に岡本喜八監督の作品は『日本のいちばん長い日』、
にくだん えぶり としみつ ゆうが
『肉弾』、『江分利満氏の優雅な生活』などで仕事をしまし
たが、一番の思い出は『独立愚連隊』、『独立愚連隊西へ』
でした。この時は非現実的な軍隊の話ですから、音楽はパロ
ディー(※66)風にし、いさ
勇ましい音は一切使いませんでした。

ひげんじつてき
※65 非現実的

げんじつ
現実にはありえないさま。

※66 パロディー

きせい とくちょう たく
広く知られている既成の作品を、その特徴を巧みにとらえて、こっけい
ふうしか もくてき か
化・風刺化の目的で作り変えたもの。広く音楽などの作品にもいう。

昭和 41 年(1966)にフジテレビで放送された連続テレビドラマ『若者たち』の主題歌として作曲されたこの作品について、勝は次のようにいっています。

「音楽は作ろうと思ってできるものじゃない。藤田敏雄の詞
—「君の行く道は、果てしなく遠い、だのになぜ、齒をくいし
ぱり、君は行くのか、そんなにしてまで」—

をもらったのが、六十年安保闘争(※67)の前後、学生運動が
ピークを迎えていた頃でした。

※67 六十年安保闘争

にちべいあんぜんほしょうじょうやくかくいてい とうそう
日米安全保障条約改定反対の闘争。

ただ、なぜかすーっとメロディーが浮かんできたんです。その時紙を持っていなかったのので、タバコの箱の裏に略譜(※68)を書いたんです。5分もかからなかった。」



わかもの えいがよう
『若者たち』映画用のシナリオ

※68 りやくふ
略譜

かんたん がくふ
数字で表した簡単な楽譜。

この時、歌は作るものではなく、生まれるものだと初めて思
いました。後に『若者たち』は映画化されています。

その他にも、流行歌(※69)をいくつか作っていますが歌が生
まれるにはその時代の背景がありました。

石原裕次郎の『狂った果実』は太陽族(※70)ブーム。ブルー
ベルシンガーズの『昭和ブルース』は、学園紛争(※71)で挫折
した学生のパロディー。由紀さおりの『恋文』は本当の日本
語を守ろうと思い作ったと語っています。

※69 流行歌

一時期広く世間に流布し、多くの人に好まれ歌われた歌。

※70 太陽族

昭和30年(1955)石原慎太郎の小説「太陽の季節」から生まれた流行語。
既成の秩序を無視して、無軌道な行動をする若者たちを言った。

※71 学園紛争

政治闘争に加えて大学の管理運営や学費値上げなど学園問題を取り
上げ、一般学生を巻き込む形で大学内における紛争。

わづら 大病を患う

昭和56年(1981)、丸山誠治監督作品『南十字星』のオーストリアのシドニーロケから帰国すると、持病の糖尿病(※72)とストレスからか白内障(※73)を併発したため、東京医大で手術し、翌年緑内障(※74)で眼底出血(※75)を発症し、さらに足の指が壊疽(※76)にかかり、手術しました。

※72 糖尿病

血糖値を下げるインスリンがうまく働かなくなり、慢性的に血糖値が高くなる病気。

※73 白内障

目の中のレンズの役割をしている水晶体が白く濁ってくる病気。

※74 緑内障

目から入ってきた情報を脳に伝達する視神経という器官に障害が起こり、視野が狭くなる病気。

※75 眼底出血

網膜表面の血管の破綻や閉塞することで起きる網膜の出血。

※76 壊疽

糖尿病の合併症で、体の組織が腐ってしまうこと。

医者から失明寸前とまで言われました。手術後、目に包帯
を巻いて病院のベッドに寝ているほかなく、本当にもう目が見えなくなるのではないかと不安な毎日を送りました。
ただ、もう一度楽譜を見たいと本当に思いました。ベッドに横たわっている勝にラジオから聞こえてくる音楽は細川たかしの『北酒場』ばかりだったといいます。この年の一番のヒット曲でした。

3ヶ月ばかり入院した8月に復帰第一作大沢豊作品『せんせい』のロケの下見に山本薩夫監督と長崎に行きました。

しかし、まだ包帯がとれたばかりで、まだ目がよく見えな
いし、五線紙(※77)の線は黒い縞模様にしが見えず、楽譜もま
ともに書くことができないまま仕事をせざるを得ませんでした。

昭和58年(1983)、まだ、体調が優れないまま、五社英雄監督
の『陽暉楼』を引き受けることとなります。監督とは長いつ
きあいで、次は是非一緒にやりたいと言われていました。

※77 五線紙

五線の引いてある楽譜用紙。

しかし、^{ごしやかんとく}五社監督からその前の『^{きりゆういんはなこ}鬼龍院花子の^{しょうがい}生涯』のオ
ファー(※78)を受けていたのですが、他の仕事が入っていたた
^{ことわ}め断っていました。一度断るともう仕事は廻してもらえな
いのが普通でした。

しかし、^{ごしやかんとく}五社監督もピストルの^{ふほう}不法所持(※79)で捕まった
ため、次の作品に^{さいき}再起をかけていました。^{まさる}勝も、病み上がり
で同じく^{さいき}再起をかけていたものですから、^{しんきいつてん}心機一転(※80)
^{さいしゅつぱつ}再出発しようと引き受けました。

※78 オファー

マーケティングでは、^{はんばいしゃ}販売者が^{こうにゆうしゃ}購入者に^{こうにゆう}購入に関して^{かん}条件を^{じょうけん}を
^{ていあん}提案すること。

※79 不法所持

^{じゅうき}銃器など^{ほうりつ}法律で^{きん}所持が禁じられているものを持っていること。

※80 心機一転

あることをきっかけに、すっかり^よ気持ちや心を良いほうに入れかえ
ること。

『陽暉楼』は花街の物語で、勝も五社監督も同じような

環境で育ったことから、なにか因縁めいたものを感じ、この仕事には力がはいりました。

この映画は日本アカデミー賞の作品賞以外の各賞を総な

めし、勝は最優秀音楽賞を受賞しました。



陽暉楼のポスター

昭和54年(1979)に一度東京の日本青年会館ホールで自分の
作曲した映画音楽をジャンルごとに分けて自作自演(※81)の
コンサートをしていました。映像抜きでも音楽が一人歩きで
できることを示したかったからです。できればこのコンサート
を続けていきたいと考えていました。

随分前から留萌の若い仲間が佐藤勝のコンサートを地元で
開催したいと勝の元に機会あるごとに足を運んで、コンサ
トの実現を模索(※82)していました。

※81 自作自演

創作した作品を自らの手で演じること。

※82 模索

手さぐりで探すこと。

そんな中、昭和 61 年(1986) 8 月 19 日、故郷留萌^{ふるさと}でのコンサート^{じつげん}が実現^{さいしよ}しました。最初は留萌市文化センターのこけら落とし^(※83)にやりたいということでした。

しかし、東京からオーケストラ^つを連れてくるのには費用^{ひよう}が掛^かかりすぎる。何とか実現^{じつげん}できる方法^{ほうほう}はないかと知恵^{ちえ}を絞^{しぼ}っていました。

※83 こけら落とし

た げきじょう はじ もよお
新たに建てられた劇場^たで初めて行われる催し^{げきじょう}のこことである。

佐藤 勝 映画音楽コンサート

●指揮 佐藤 勝

●演奏 札幌交響楽団

若者たち
君のゆく道は
はてしなく遠い
たのになぜ
胸をくいしばり
君はゆくのか
そんなにしてまで
君のあのひとは
今はもういない
たのになぜ
なにを捜して
君はゆくのか
あてもないのに
君のゆく道は
希望へとつづく
空にまた
陽が昇るとき
若者はまた
歩きはじめる

昭和61年8月19日(火) PM6:00 開場

留萌市文化センター

主催 社団法人 留萌青年会議所

協賛 佐藤 勝コンサートを成功させる会

留萌市民劇場・留萌市文化団体協議会
留萌市民吹奏楽団・留萌混声合唱団
女声合唱団コルシエン・留萌映画ファンクラブ
ヘリンボーン・留萌ライオンズクラブ
留萌みなとライオンズクラブ・留萌ロータリークラブ
広瀬ソロボチミスト園芸

留萌での^{さいしょ}最初のコンサートのポスター

そして、やっとその日が来ました。「グランDEM86 佐

藤勝^{とうまさる えいが}映画音楽^{せいねん かいぎしよ しゆさい}コンサート」が留萌青年会議所主催で開かれた

のです。札幌交響楽団の三管編成^{さんぱんへんせい} (※84)に東京から四リズム

加えた特別編成の「佐藤勝とその楽団」に勝は興奮を隠せま

せんでした。

第一部は佐藤勝作品集。『皇帝のいない八月』からスター

トし、『キタキツネ物語』、『遙かな山の呼び声』、『北の螢』

と続く。

第二部は佐藤勝編曲による外国映画音楽。『セビリアの

理髪師序曲』、『ボレロ』、『第三の男』、『戦場にかける

橋』、『シェーン』と続いた。

※84 三管編成

オーケストラは、音楽の一種である管弦楽、または、管弦楽曲を演奏する目的で編成された楽団を指す。

まんいん 会場から一曲終わるごとに割れんばかりの拍手がわ
わ はくしゅ
き上がる。さいご 最後のアンコールでまさる 勝はさいぜんれつ 最前列のじょせいと 女生徒に「歌う
かい」と聞くと、「うん」とうなずいた。わかもの 『若者たち』のえんそう 演奏
が始めると、しず 静かに「きみの一ゆく、みちは一」とだいがっしょう 全員のたいがっしょう 大合唱
となりました。

まさる せなか ふるさと 勝は背中に故郷留萌を感じ、人生のいろいろな出来事がそう
まとう 馬燈(※85)のようにのうり 脳裏(※86)をかけていくのを感じていまし
た。

昭和 63 年(1988)にはえいどう てんじ 留萌市海のふるさと館の映像展示『海
も 燃えて～留萌みなと物語～』のたんとう 音楽を担当し、ふるさと まさる 故郷に勝メロ
ディーをのこ 残してくれました。

そうまとう
※85 走馬燈

きおく か めぐ
思い出や記憶が頭の中を駆け巡るようによみがえること。

のうり
※86 脳裏

頭の中。

1992

留萌市教育委員会自主文化事業

Music in Rumoi

佐藤勝の音楽

•指揮 佐藤 勝 •演奏 札幌交響楽団

Music in Rumoi 留萌で生まれた音が
今、シンフォニックに留萌に響く!!



ゲスト (客) 佐藤千恵子

•10月1日(木) 開演19:00 閉演19:30 •留萌市文化センター

主催：留萌市／留萌市教育委員会

後援：NHK／北海道新聞社／留萌新聞社
留萌日日新聞社／留萌市文化団体協議会

留萌での二度目のコンサートのポスター

平成4年(1992)10月1日に留萌市の主催で、留萌市開基百
十五年記念「ミュージックインルモイ 佐藤勝の音楽」と
題して昼夜2回にわけて映画音楽コンサートを開催しました。
演奏はやはり札幌交響楽団で『あゝ野麦峠』や『敦煌』の一
部、『陽暉楼』を演奏会用に書き直したものと、故郷のため
に作った『北の序曲』を三管編成に書き直したものを演奏し
ました。

また、故郷に対して長年貢献したことから「留萌市功労賞」
を受賞しました。



コンサートに先立って行われた講演会

えいが 300 本目の映画音楽

よくとし
翌年（1993）はとうとう 300 本目の映画、えいが さわい しんいちろうかんとく
澤井信一郎 監督

あい うた たきれんたろうものがたり
の『わが愛の譜／滝廉太郎物語』に取りかかりました。

かんせいご ごたんだ きねん
この作品の完成後、五反田ゆうぽうと（※87）で 300 本記念の

さとうまさるえいが かいさい いたみし ぶんか かいかん
「佐藤勝映画音楽コンサート」を開催し、伊丹市文化会館ホ

かいさい いたみ えいが さい いふくべあきら せいたん
ールで開催された伊丹映画祭では伊福部昭の「ゴジラ生誕四

しゅうねん きねん し き
十周年記念コンサート」がありオーケストラを指揮しました。

いぎょう しょう じゅしょう
この 300 本という偉業（※88）からこの年多くの賞を受賞し

ました。

ごたんだ
※87 五反田ゆうぽうと

ごたんだ ふくごうせつ
東京都品川区西五反田にあった、複合施設のこと。

いぎょう
※88 偉業

いだい じぎょう
偉大な事業。すぐれた仕事。

まいにち えいが しょう につかん えいが たいしょう
毎日映画コンクール音楽賞、日刊スポーツ映画大賞、

いしはら ゆうじろう しょう ゆうしゅう しょう まきの しょうぞう しょう
石原裕次郎賞、日本アカデミー賞の優秀音楽賞、牧野省三賞、

ぜんえい れんとくべつ しょう げいじゅつ せんしょう もんぶだいじん しょう じゅしょう
全映連特別賞、芸術選奨・文部大臣賞を受賞しました。

げいじゅつ ぶんか すぐ きょうせき じゅよ
11月には芸術文化の優れた業績に対して授与される

しじゅほう しょう じゅしょう
紫綬褒章を授章しました。



300 本目の作品

ふるさと さいご
故郷での最後のコンサート

平成9年(1997)9月6日、留萌市開基百二十年・市制施行五
十年・留萌港開港六十年記念行事として『用心棒』を留萌市
文化センターで上映し、翌日記念コンサート「佐藤勝とオー
ケストラ」を勝の指揮で札幌交響楽団の演奏で開催しました。

第一部はオーケストラ用に 編曲 した『ファンファーレ』に
始まり、『ソーランラプソディー』、若者たちより『若者は
ゆく』、『わが青春のとき』、『薄化粧』、『極道の妻たち』、
黒沢明との思い出話と共に『赤ひげ』、特別ゲスト千恵子夫人
の歌で『疎外者の子守歌』、『道行』、そして旧制留萌中学
校同期生との『旧制留萌中学校校歌』と続きました。



留萌市開基120年・市制施行50年・開港60年記念事業

佐藤 勝とオーケストラ

指揮 佐藤 勝

札幌交響楽団



写真 佐藤千恵子

郷土留萌が生んだ映画音楽界の巨匠、佐藤勝。
自らのタクトに全身全霊をこめて
留萌市民の皆様にお贈りする、メイド・イン・ルモイ。
留萌で生まれた珠玉の作品の数々を今、シンフォニックに。

1997年9月7日日 留萌市文化センター

主催/留萌市開基120年 市制施行50年 開港60年記念事業実行委員会

留萌での最後の^{さいご}コンサートのポスター

第二部は『皇帝のいない八月』、『組曲 留萌の海へ』、
『戦争と人間』、『乱舌』、『三たびの海峡』、千恵子夫人
による『一本の鉛筆』、『荒城の月』、『札幌オリンピック』
でしめました。

これに先立ち、青く澄み渡った空の元、黄金岬で佐藤勝
夫妻による歌碑(※89)の除幕式が行われました。歌碑には
『若者たち』の楽譜が刻まれ、メロディーが流れてきます。

勝にとっては最も喜びを感じられた2日間でした。

これが留萌での最後のコンサートになりました。



歌碑の除幕式での佐藤夫妻

※89 歌碑

歌の歌詞を彫りつけた石。

平成10年(1998)9月7日黒沢明監督が亡くなります。『影武者』

で黒沢監督と袂^{くろさわかんたく たもと}を分かったままだった勝^{まさる}にとって監督の

死はショックそのものでした。死後1ヶ月ほど経^たってから

関係者^{かんけいしゃ}に送^{おく}った手紙に

一黒沢さんが亡くなって、生存中は私^{わたし}の中の甘えが黒沢

さんとの接点^{せつてん}になっていましたが、亡くなって初めて私に

密着^{みつちゃく}した存在^{そんざい}で、私^{わたし}の3/4は黒沢さんと切り離^{はな}せない

偉大^{いだい}な方^{じっかん}だったと実感^{じっかん}しており、このような方^よに寄りかかれ

たことを幸せ^{しんじょう}に思うと共に誇^{ほこ}りに思っています。一

と心情^{しんじょう}(※90)を述^のべています。

※90 心情

心の中の思い。



そして、黒沢監督が最後に残したシナリオ(※91)『雨あがる』

の映画化に参加することになります。

この映画の担当することが決まった時、

「『影武者』で退学した黒沢学校にやっと戻れました。18

年ぶりに手にする黒沢明と名前の入った本を受けとり、私の

映画心は高揚(※92)しております。小品ながら中々良くでき

た本で、行間から黒沢さんの体温が伝わって参ります。」と
語っています。

勝はこの仕事を受けるに当たって、万全を期すため、東京

医大の眼科へ通います。そして更に次のように決意を述べて
います。

※91 シナリオ

場面変化の順序、せりふ、動作などを書いたもの。

※92 高揚

高まり強くなること。

「^{こんど}今度の仕事で 98 人目の^{かんとく}監督で 308 作品目になり、^{わたし}私の
^{いさく}遺作になっても^は恥ずかしくない作品にしようと張り切ってお
ります。

^{えいが}映画音楽の^{えきす}エキス(※93)のような^{わたし}私の^{きゃりあ}キャリア(※94)によ
^{ごくい}る^{ごくい}極意(※95)と言うか、全く新しい^{しんせん}新鮮な音楽と^{えいぞう}映像による
^{ひょうげん}表現を楽しみにしておる次第です。」

※93 エキス

^{もつと}よりぬきの最も大事なところ。

※94 キャリア

^つ積み重ねた^{けいけん}実地の経験。

※95 極意

ひけつ。

そして、映画が完成した後、

「『雨あがる』を終え、近年にない安らかな気分を味わっております。『影武者』でノンちゃん(※96)に言われた作家が精神の高揚を失ったらオシマイよと言ってもらって降りた人間の敗者復活の仕事でした。監督補佐に付いたノンちゃんのお陰で伸び伸びとした音楽が書けました。黒沢さんも守護霊(※97)となって助けてくれたような気持ちです。」となにか悟ったような心情が吐露(※98)されています。

しかし、この308本目の映画が佐藤勝の遺作になるとは誰も思っていないませんでした。

※96 ノンちゃん

野上照代さん

※97 守護霊

人などに付きその対象を保護しようとする霊のこと。

※98 吐露

気持・意見などを隠さずに他人にうちあげ述べること。

平成 11 年(1999)11 月 3 日、長年映画界に貢献したことから美術監督村木与四郎とともに勲四等旭日小綬章(※99)を授章します。そして『雨あがる』のスタッフを中心に親しい仲間たちがこの二人の叙勲(※100)祝賀会を開いてくれることとなりました。

12 月 5 日、小田急線の成城学園前駅のマダムチャンという料理店にみんなが集まります。約束の 4 時をまわり、勝は細かい急な階段を上り、みんなの拍手に迎えられて席につきました。「そろそろ始めましょうか？」の声に、勝は乾杯前の

くんよんとうきよくじつしょうじゆしょう
※99 勲四等旭日小綬章

くんしょう
日本の勲章の一つ。

じょくくん
※100 叙勲

こうきょう こうろう くんとう くんしょう あた
国家や公共事業に功労のあった人に勲等を受け、勲章を与えること。

方がよ良いと思ったのか、じゆしょう授章したくんしょう勲章をひろう披露しようとして、
そのケースを開いたところ、ケースの中からいっしょ一緒に入っていた
りやくしょう略章がまさる勝の足下に落ちてしまった。それを拾おうと、足下
にかがみ込んだとたん、「ウウツ」と声を出して前のめりになり
ながらむね胸をかきむしり、「こんないた痛みははじめてだ……
。」と言いながらたお倒れ込んだ。これがさいご最後の言葉となりました。
た。

すぐにきゆうきゆうしゃ救急車を呼びみたか三鷹のきょうりんだいがく杏林大学の病院に運ばれました
が、な亡くなりました。しいん死因はしんきんこうそく心筋梗塞でした。

ぎんまく銀幕の中のメロディーをひたすらついきゆう追求した 71 年の人生で
した。

12月21日「佐藤勝お別れの会」が青山斎場で行われ、多くの知人友人ファンが祭壇に献花(※101)してお別れを告げました。参列者には「追悼佐藤勝」のCDが手渡されました。



参列者に配られたCD

第54回毎日映画コンクールで黒沢明監督作品を初めとする数々の映画音楽を作曲し、日本映画の質を高めた功績に対し特別賞が贈られました。

※101 献花

霊前などに花を供えること。

よくとし

翌年(2000) 1月22日、『雨あがる』が公開され、佐藤勝^{さとうまさる}308

ぎんまく

えいがかん

本目の銀幕の中のメロディーが映画館に流れたのです。

おわりに

さとうまさる な
佐藤勝が亡くなって今年(2019)で20年になります。

いっさくねん しぶやく ぶんか そうごう
一昨年の7月30日渋谷区文化総合センター大和田さくら
ホールでまついけいた しき オーケストラ・トリプティーク演奏
による「さとうまさる 佐藤勝音楽祭」が行われました。亡くなってから20
年たつたのですが、さとうまさる 佐藤勝メロディーはわかて っ
がれえんそう 演奏されています。まさる まさる えいが ふぞく
のメロディーだけではなく、音楽もまた 一人歩きできることが
しょうめい 証明されています。

いまごろ かんとく えいが つづ
今頃天国で多くの他界された監督たちと映画を作り続け
ているのかもしれない。

はいしゆつ きょうど ほこ
このような音楽家が留萌から輩出したことは郷土の誇り
としてかた っ 語り継いで行かねばなりません。

2017

7.30 SUN

開場 13:30 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール
開演 14:00 SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA・SAKURA HALL (4F)

チケット：カンフェティ www.confeti-web.com/ TEL. 0120-240-540 FAX 070-5464-5060

佐藤 勝

MASARU SATO

勝

音楽祭



指揮 松井慶太

演奏 オーケストラ・トリプティーク

プロトタイプ

中山心子 (指揮者) / 清水真八 (人)

今年公演 (演奏会) / 東京国立近代美術館フィルムセンター (映画資料)

制作プロダクト

山口隆雄 (演出)

山口隆雄 (演出)

主催 芸術祭実行委員会

協賛 松井慶太

演出プロダクト

東京ミュージック

制作 SAC ネットワーク

中山心子

演出 東京音楽

演出 小松田

山田洋次監督 幸福の黄色いハンカチ
岡本喜八監督 肉弾 | 呐喊 | 独立愚連隊
黒澤明監督 隠し砦の三悪人 | 用心棒 | 赤ひげ
ゴジラシリーズ ゴジラの逆襲 | ゴジラの息子
ゴジラ対メカゴジラ

ゴジラ、黒澤、喜八、
日本映画を音楽で支えた男。



さとうまさる
佐藤勝音楽祭のパフレット

佐藤勝の足跡をたどっていくときに多くの方から資料の提供などご協力を賜りました。

佐藤典子氏には、愛用のピアノの他、佐藤勝関係の資料を留萌市に寄贈を受けています。また、半場茂氏にも「記録・佐藤勝」をまとめたときに塊集した資料の提供を受けています。

工藤良一氏には留萌市文化センターでのコンサートの様子などの資料を提供いただきました。

この小冊子が留萌からでた偉大な音楽家の足跡を残す助けになることを願っております。

著者識

参考文献

音のない映画館 佐藤勝 立風書房 1986年

私のなかの歴史 作曲家 佐藤勝 北海道新聞連載

1988年10月17日～11月2日

300/40 その画・音・人 佐藤勝著

(株)キネマ旬報社 1994年

記録・佐藤勝 「記録・佐藤勝」を創る会

編集・責任者 半場茂 2006年

留萌百年物語

佐藤勝物語

発行日 平成31年 2月 25日

編集 留萌市教育委員会

著者 福士 廣志

発行 留萌市教育委員会

表紙 デザインスタジオ Aim

印刷・製本 三井印刷株式会社



おごんみさき とも
黄金岬の夕日と共に